

Champagne Baron de Rothschild シャンパーニュ・バロン・ド・ロスチャイルド

- ・ シャトー・ムートン・ロスチャイルドを所有するバロン・フィリップ・ド・ロスチャイルド、シャトー・ラフィット・ロスチャイルドを保有するドメーヌ・バロン・ド・ロスチャイルド、そしてシャトー・クラーク・ロスチャイルドを保有し金融業を主に営むバロン・エドモン・ド・ロスチャイルドの三社のロスチャイルドファミリーが、一家のこれまでの功績とロスチャイルド家の精神的価値を代表するシンボルとして、世界でも最も名声の高いワインの一つであるシャンパーニュを造ろうとジョイントベンチャーを考案。
- ・ 2005年にパートナーシップ契約を結び、2006年に初ブレンディングを行いました。
- ・ 2009年にシャンパーニュ・バロン・ド・ロスチャイルドという名でリリース。

バックラベルには各社のオーナーである三名のサインが記載されています。

エリック・ド・ロスチャイルド男爵 フィリピーヌ・ド・ロスチャイルド男爵夫人 ベンジャミン・ド・ロスチャイルド男爵
ドメーヌ・バロン・ド・ロスチャイルド バロン・フィリップ・ド・ロスチャイルド バロン・エドモン・ド・ロスチャイルド
(シャトー・ラフィット・ロスチャイルド) (シャトー・ムートン・ロスチャイルド) (シャトー・クラーク・ロスチャイルド)

生産量:初回は年間 10 万本。(極少量生産で大変希少)

ブドウ畑:グラン・クリュ、プルミエ・クリュの中でも選りすぐった畑のブドウを使用。

コート・デ・ブラン地区: プルミエ・クリュ・・・ヴェルチュ、メニル、ヴェルジェル・ル・ヴィルチェ
モンターニュ・ド・ランス地区: グラン・クリュ・・・ヴェルズネイ
プルミエ・クリュ・・・オーヴィレール、マレイユ・シュール・アイ

ブドウは、上記地区にある長期契約を結んだ農家から買い付け。自社畑同様に全てをコントロールしています。良いシャンパーニュを造るポイントは様々な地区のブドウのブレンドにあると考えます。

テロワール: 石灰岩質の地層。太陽熱を蓄え、また発散する効率がよい。水はけがよく、雨季には適度に湿度を保ち、夏期の干ばつを防ぐ効果があります。

収穫: 9月に手摘みで行います。

醸造: フレッシュさとフィネスを保つため、発酵は温度管理されたタンクで、天然酵母を用いて約2週間かけて行われます。発酵後はブレンディングまでステンレスタンクに入れて熟成します。

シャンパーニュ・バロン・ド・ロスチャイルドの特徴: フレッシュさ、純粋さ、フィネス

- * 通常のシャンパーニュと比べ、高いシャルドネの使用比率が特徴。
- * リザーブワインを贅沢に40%使用。
- * ドサージュは約6%と軽めに行います。
- * デゴルジュマン後、6ヶ月間セラーにて休ませます。
- * 瓶詰め後4年間の長期熟成を経て出荷されます。



Champagne Barons de Rothschild Brut NV

シャンパーニュ・バロン・ド・ロスチャイルド・ブリュット

セパーージュ: シャルドネ 50%、ピノ・ノワールとピノ・ムニエ合わせて 50%

テイastingコメント:

青みがかった黄金色。きめ細かく持続性のある泡で、繊細でフレッシュな花の香りが印象的。非常にスムーズな飲み口で様々な要素が素晴らしいハーモニーを作り出しています。ピノ・ノワール、ピノ・ムニエを使用することでしっかりとしたストラクチャーで力強い味わいでありながらも、柔らかさを併せ持つシャンパーニュに仕上がっています。



Champagne Barons de Rothschild Blanc de Blancs Brut NV

シャンパーニュ・バロン・ド・ロスチャイルド・ブラン・ド・ブラン・ブリュット

セパーージュ: シャルドネ 100%

テイastingコメント:

緑金色。シャルドネ特有の、エキゾチックな白系果実のアロマが香ります。口に含むと非常に長く続く泡が印象的です。力強さとフレッシュさのバランスが絶妙です。



Champagne Barons de Rothschild Rosé Brut NV

シャンパーニュ・バロン・ド・ロスチャイルド・ロゼ・ブリュット

セパージュ:シャルドネ 85%、ピノ・ノワールとピノ・ムニエ合わせて 15%

テイastingコメント:

サーモンピンクの色調の、青みがかった美しいピンク色。繊細な赤系果実のアロマで、とてもシルキーで滑らかな口当たり。非常に繊細で洗練された味わいです。シャルドネを多く使用しているため、タンニンの印象が抑えられています。



* シャンパーニュ・バロン・ド・ロスチャイルドの紋章について

ロスチャイルド家の5人の兄弟の団結のシンボルとされる5本の矢が、一族の名前の起源となった“ロスチャイルド”=赤い盾を囲んでいるこの紋章は、1822年に、オーストリア皇帝が5人の兄弟全員*に男爵の地位を授けて以来、現在までロスチャイルド家で使用されているものです。盾の下には、ロスチャイルド家のモットーである“Concordia, Integritas, Industria”(調和、誠実、勤勉)という銘が入っています。

* フランクフルトのマイヤー・アムシェル・ロスチャイルド

* ウィーンのサロモン・マイヤー・ロスチャイルド

* ロンドンのネイサン・マイヤー・ロスチャイルド

(バロン・フィリップ・ド・ロスチャイルドのフィリピーヌ・ド・ロスチャイルド男爵夫人の家系)

* ナボリのカルマン・マイヤー・ロスチャイルド

* パリのジェームス・マイヤー・ロスチャイルド

(ドメーヌ・バロン・ド・ロスチャイルドのエリック・ド・ロスチャイルド男爵、

バロン・エドモン・ド・ロスチャイルドのベンジャミン・ド・ロスチャイルド男爵の家系)



今回、ロスチャイルド家のシャンパーニュをリリースするに当たり、この一家の紋章を採用することとなりました。